



大分県立竹田高等学校
関東同窓会報
第22号

発行者・会長 長吉 泉
編集者・委員長 神田 清
発行所・関東同窓会事務局
〒248-0025 神奈川県鎌倉市
七里が浜東 2-37-6
電話 0467-31-5715
FAX 0467-31-5715

印刷・佐伯印刷(株)

総会特集

平成十二年度

関東同窓会総会開催 第十四回総会・懇親会 格調高いミレニアム総会!

当番幹事長・服部 恭一
(昭三四年卒)

☆竹高我等意気高し

第一四回竹田高校関東同窓会が七月一日(土)午後十二時より東京・市ヶ谷のグランドヒル市ヶ谷「瑠璃の間」で開催されました。当日は、開催時刻より多数の同窓生が駆けつけ、総勢二百余名が参加されました。来賓に竹田高校・永松校長、同窓会・田北和義会長を初めとして、多数の方々が多忙の中駆けつけて頂きました。ミレニアムを飾る総会に相応しく多岐に渡る来賓をお迎えしての盛大な総会となりました。

「総会の部」

幹事長の用正靖彦氏(昭三十年卒)が司会を担当され、定刻に開会を宣言されました。初めに長吉会長(昭二六年卒)よりご挨拶を頂いた後、会務報告、会計報告、監査報告をされました。併せて、御来賓より母校が国公立等の進学率で県内でも優秀な成績を収めたこと、又部活での輝かしい成果についても披露されました。

「懇親会の部」

当番幹事の中から成安富吉氏、根本英子氏(昭三四年卒)と酒井眞美子氏(昭四四年卒)

の三名が協力して司会を担当され、同窓会の長老・中川清次氏(昭四四年卒)の年齢を感じさせない乾杯の音頭により懇親会がスタートしました。

今回の懇親会は、豪華に東京メトロポリタンアンサンブルの四人のメンバー(田中さん、中山さん、野口さん、守屋さん)の演奏により「荒城の月」など郷里の音楽家・滝廉太郎作曲の懐かしいメロデーをBGMに

歴史のある我が城下町竹田高の同窓会に相応しい実に優雅な雰囲気の中での格調高い懇親会となりました。

会場内では、故郷の物産が数多く展示されましたが、これが大変な人気で、中には売り切れの商品もでる程

の大盛況でした。時間は瞬く間に過ぎ閉会の時刻を迎え、当番幹事より、来賓並びに開催へ協力頂いた同窓会員各位への御礼と感謝の意を表し一言挨拶を申し上げた。続いて来年の当番幹事を代表して、平手肇氏(昭三五年卒)と川口弘展氏(昭四五年卒)が壇上上がり当番幹事の引継ぎ式が執り行われました。最後に当番幹事より会員各位のご健勝をお祈りしながら、来年の再会を約束して今年の総会を閉幕しました。



平成12年度竹田高校関東同窓会	御来賓	御芳名
大分県立竹田高校 校長	永田	士 義 成 功 豊 朗 志 俊 郎 男 朗
大分県立竹田高校 同窓会長	松北	康 和 一
参議院議員	阿南	哲 真 勝 謹 良 文
大分県東京事務所 所長	財津	
大分県立三重農業高校 幹事長	本口	
大分県立竹田高校 PTA会長	山後	
大分県立竹田高校 評議員	藤野	
竹田商工会議所 会頭	野斐	
竹田観光協会 会長	菅 茅 甲	
阪大名誉教授		
熊大名誉教授		



当番幹事の熱意が溢れる会場風景



長吉会長を囲み、ご歓談中のご来賓

フォトで綴る!! 第14回 総会懇親会風景 2000年7月1日



田北同窓会長の挨拶と永松校長先生、他ご来賓の方々

プログラム

「総会の部」(12時～12時30分)

- 1、開会のことば
- 2、会長あいさつ
- 3、会務・会計報告
- 4、監査報告
- 5、来賓挨拶

「懇親会の部」

(12時40分～15時30分)

- 1、乾杯
- 2、会食・歓談
- 3、アトラクション
- 4、当番幹事引継ぎ
- 5、「校歌」「荒城の月」斉唱
- 6、閉会のことば



東京メトロポリタン
アンサンブルの演奏



全員で校歌と荒城の月を斉唱



和気あいあい、話に花が咲く会場風景



遠方から「かけつけた」当番幹事



「何年卒ですか？」
出席者で混雑した受付、ご苦労さん。

平成十二年度総会報告と 平成十一年度会務・会計報告



幹事長
用正 靖彦
(昭三〇年卒)

(一) 平成十二年度 総会報告

去る七月一日(土)、グラン
ドビル市ヶ谷において第十四回
関東同窓会総会・懇親会が開催
された。

冒頭、物故者十四名の方々の
ご冥福を祈り黙祷を捧げたのち
総会に入った。

永松校長、田北本校同窓会長、
阿南参議院議員他多数の来賓が
臨席。又、神戸より茅野大阪大
学名誉教授、熊本より甲斐熊本
大学名誉教授が出席。更に竹田
地区より当番幹事である34年
卒・44年卒の同級生の参加もあ
って、出席者は総勢二〇四名と
盛大な総会となった。

長吉会長の挨拶にはじまり、
会務報告、会計報告・監査報告
が承認されたあと、永松校長よ
り母校の現況について詳細な説
明が行われ、続いて田北本校同
窓会長の挨拶と来賓の紹介が行
われた。

懇親会は「東京メトロポリタ
ンアンサンブル」による「荒城

の月」が照明をおとした中で演
奏され、当番幹事の粋な演出で
幕開け、中川顧問の発声で乾杯、
アトラクションも滝廉太郎の曲
からタンゴ、ビートルズの曲に
およぶ弦楽四重奏の美しい音色
に魅了された。

最後は、当番幹事の阿南洋子
さんの指揮、東京メトロポリタ
ンアンサンブルの伴奏で校歌を
斉唱して散会となった。

当日出席されなかった会員の
皆様には本紙面をお借りして、
以下平成十一年度会務・会計報
告を致します。

(二) 平成十一年度 会務・会計報告

(1) 会務報告

●平成十一年四月二十二日役員会
 学士会館 出席一三名
 役員改選年度にあたり新役員
 候補について

●平成十一年四月二十二日幹事会
 学士会館 出席三七名
 役員改選年度にあたり新役員
 の決定

・特別維持会員制度(単年度維
持会員)の承認
・総会、懇親会運営内容再確認
・総会、懇親会経費予算につい
て

●平成十一年五月二十九日
 第十三回総会、懇親会の案内
 状発送 参加二八名
●平成十一年六月二十六日
 事務局移転
 新事務局住所
 〒248-0025 神奈川県
 鎌倉市七里ガ浜東2-37-6
 西 誠方
 TEL/FAX 0467-315715

●平成十一年七月十七日
 第十三回総会、懇親会 於ホ
 テルセンチュリーハイアット
 出席一七七名
 当番幹事 昭三三年卒 昭四
 三年卒が担当

開会、会長挨拶、会務、会計
報告、監査報告、来賓挨拶、
新役員紹介、乾杯
アトラクションはバンド演奏
「懐かしのポップスヒット集」
歌唱指導 寿川有理氏による
青春の歌声
郷土特産品コーナーの設置

●平成十一年八月二十八日
 総会、懇親会の反省会(役員、
各委員会委員、学年幹事、当
番幹事)
 於 上野蓬来閣 出席三五名
 第十三回総会、懇親会の総括
 総会収支報告
●平成十一年十月十五日役員会
 学士会館 出席九名
 秋の幹事会日時、議題について
●平成十一年十一月二十四日幹事会
 学士会館 出席者二二名
 第十三回総会、懇親会の結果
 報告
 第十四回総会、懇親会に向け
 ての日程確認

●平成十二年二月十四日役員会
 学士会館 出席者九名
 春の幹事会日時、議題について

(2) 会計報告



役員会・幹事会開催会場

会計報告

収支計算報告書

(平11.4.1から平12.3.31まで)

1. 収入		
① 維持会費	1,872,600円	費
② 総会費	1,408,000円	費
③ 広報費	30,000円	料
④ 総会費	60,000円	儀
⑤ 総受	331円	息
前期繰越	3,370,931円	
合計	1,272,398円	
2. 支出		
① 総会費(第13回)	2,379,911円	費
② 議事費	448,523円	費
③ 事務費	383,527円	費
④ 会名簿	776,957円	費
⑤ 名簿	277,200円	費
⑥ 慶弔	35,487円	費
計	4,301,605円	
次期繰越	341,724円	
合計	4,643,329円	
3. 次期繰越の内訳		
① 現金	68,106円	
② 普通預金	273,618円	
計	341,724円	

上記の通り報告します。

平成12年4月21日

幹事長 用正 靖彦

監査報告書

監査の結果、この収支計算報告書は、適
正かつ正確であることを認めます。

平成12年5月10日

監事 吉田 忠典
監事 吉得 丸大

会計報告は平成十二年五月十
日に吉田忠・得丸大典監事が監
査を実施し、適正かつ正確であ
る旨の報告があり、総会におい
て承認可決されました。

Now
in
Taketa

情報
たけ
Information

まちの
話題



城下町竹田の新しい魅力に

温泉施設の概要が決定しました

竹田市の実施している温泉開発事業につきまして、本年三月から五月にかけて実施された施設整備のための設計コンペの結果、最優秀作品(上記外観図)が選ばれました。

今後、温泉開発は、平成十三年秋の完成を目指して進められる計画です。

(施設の特徴)

外観デザインは、城下町竹田にふさわしい日本家屋風の意匠とし、商家のたたずまいが感じられる施設としており、唐破風の玄関やのれん、欄干等を用いることにより温泉施設の風情を醸し出しています。

入浴施設部分は、大浴場のほか、釜湯(蒸風呂)、サフラン湯等が特徴の「イベント湯」と大浴場、運動浴等が特徴の「健康湯」の二つのタイプを整備し、男女日替わりで利用できるように計画されているほか、家族風呂の整備も計画されています。また、休憩室については、利用者が気軽に使えるよう、畳敷きの大広間が提案されています。

屋外には、施設全面に回廊(軒下空間)を設け施設の賑わい作

りを演出するほか、温泉スタンドを整備する計画で利用者が温泉を持ち帰れるよう配慮された計画となっています。

●お問い合わせは

竹田市企画課 ☎(63)1111
(内線221・222)

【施設の概要】

【概要】	
○総事業費	約800,000千円
○延床面積	約1,985㎡
○構造	鉄筋コンクリート造 2階建
【入浴施設】	
(イベント湯)	
大浴場、浮き風呂、釜湯(蒸風呂)、カボス湯、サフラン湯、露天風呂、その他	
(健康湯)	
大浴場、運動浴、浮き風呂、サウナ、ジャグジー(露天風呂)、うたせ湯、その他	
(家族風呂)	
【休憩施設】	
大広間、個室休憩室、食堂・厨房、売店、情報スペース、パウダールーム、その他	
【その他】	
中庭、回廊、温泉スタンド、時計台、屋外トイレ、駐車場、駐輪場、その他	



↑ 遊歩道から計画地方面



↑夕暮れになると、近所の人や家族連れが気持ちよさそうに足を付けて談笑する光景が見られる。

(竹田の温泉成分分析)

泉質…単純温泉 泉温…源泉41.2℃ 温泉の成分…リチウムイオン/ナトリウムイオン/カリウムイオン/マグネシウムイオン/カルシウムイオン/フッ化イオン/塩化物イオン/硫酸イオン/炭酸イオン 浴用の適応症…神経痛/筋肉痛/関節痛/五十肩/運動麻痺/関節のこわばり/うちみ/くじき/慢性消化器病/痔疾/冷え症/病後回復期/疲労回復



**泉と音の風景
竹田あし湯 オープン!**



温泉活用施設「竹田あし湯」が6月19日に市庁舎跡地にオープンしました。



↑「あったかいよ!」オープンセレモニーに招かれた竹田保育所の園児は、大はしゃぎ。

「竹田あし湯」は、温泉を活用した中核施設を建設するまでの間、竹田温泉(仮称)を広く理解していただき、新たな竹田の資源を皆さんにいち早くご利用いただきたいという思いで設置しました。この施設では、湧き出る温泉に足をつけ、ゆっくりとくつろぐことができます。良質のやわらかい温泉ですので、肌がツルツルとして心地よい気分になります。また、給湯の施設も併設しており、また、付けのホースで手軽に汲んで持ち帰ることができます。

施設としては、決して大規模なものではありませんが、竹田らしさをふんだんに盛り込みました。発掘出土品である竹田産「溶結凝灰岩」を主構造部分に有効活用した庭園風の設計に加え、湧き出す温泉の音を表現するために、「泉と音の風景」と題してひと工夫しています。

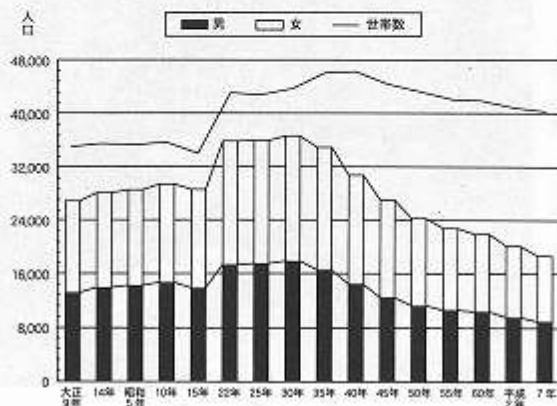
開設以来、音をたてながら湧き上がる温泉を多くの方が利用され、ちよっとした竹田の新名所となっています。

ふるさと
☆故郷情報 「温泉開発状況その後」をお届けしてみました
(竹田市提供「広報たけた」より)



2000年国勢調査は10月1日(日)です

10月1日(日)現在で、全国一斉に「2000年国勢調査」が行われます。国勢調査は大正9年から5年ごとに行われて、西暦2000年の調査は17回目になります。今年は、日本だけでなく、アメリカ・中国・韓国など世界各国の多くの国で国勢調査が行われます。調査項目は、氏名、出生の年月、就業状況など22項目です。調査票の記入内容を統計以外の目的に使用することは法律で固く禁じられていますので、ご安心ください。調査の結果は、福祉・雇用・住宅・防災の基礎資料として様々な分野で幅広く利用されます。9月下旬から調査員がお伺いしますので、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。



国勢調査竹田市実施本部が設置されました。(6/1) →

●竹田市の人口の推移

	大正9年	大正14年	昭和5年	昭和10年	昭和15年	昭和22年	昭和25年	昭和30年
人口	26,902	28,184	28,670	29,511	28,711	35,869	35,978	36,608
世帯	5,844	5,927	5,906	5,941	5,671	7,217	7,166	7,314

	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年
人口	34,911	30,866	27,128	24,203	22,767	21,954	20,164	18,746
世帯	7,707	7,714	7,425	7,253	7,038	6,991	6,821	6,717

●お問い合わせ 竹田市企画課 ☎63-1111 (内線222)



燃える!!

クラス会・同期会

旧制竹田中学校

四五期会

高橋 幸夫(昭20年卒)

「あかつき早く…」校歌
合唱くじゅう連山へ響きわたる。

練に費やされた。通学は真冬でも素足に下駄ばき戦闘帽に巻脚半の姿であった。戦争が激化する中、二、三年から陸海軍へと志願し、四年生になった時は百五十名から三分の二の百名ならずになつていた。約六十名が志願入隊し、中には特攻出撃一週

間前に終戦を迎え命びろいした学友もいた。また学徒動員で当時三、四年生が福岡県の工場へかり出され、学業を作業に変えて終戦の日まで勝利を信じて働いた。級友たちは、衣食住の厳しい時代に多感な青春時代を過ごしただけに、特にクラス内の友情と団結を誇りとしている。

久住登山

竹高福岡40会

荒木由美子(旧姓・杉原)

(昭40年卒)

「今度は何処で?」と言う程各地で同期会が続いている40会です。恒例の30周年を竹田で開催してから一人一人の心に飛び火しているのです。

「五月の連休に久住登山をしよう」と大分会からの電話。日頃の運動不足や女性が何人参加できるのかと不安でした。高校時代に何度も登った山。懐かしい、行きたいと言う思いから声掛けを始め、前夜にはなんと18名があつた。赤川庄に、関東、関西、中部、九州からと集まったので



憩いの一刻

す。中年の私達でしたが、すぐ昔に戻り、夜が更けるまで話が弾み、涙が出る位笑い、まるで修学旅行の様でした。

翌朝、抜ける様な青空の下で難コースの出発です。爽やかな鶯の声に励まされたのも束の間、だんだん無口になってしまいました。山岳部だった二人のお陰で道に迷う事も無く岩場をよじ登ったり、たまに見下ろす山々に感動しながらの道程でした。山頂での缶ビールは格別でした。——こんな素晴らしい景色が私達の故郷にあるんだ。53才でもやれるんだ。——大きな

難コースの出発です。爽やかな鶯の声に励まされたのも束の間、だんだん無口になってしまいました。山岳部だった二人のお陰で道に迷う事も無く岩場をよじ登ったり、たまに見下ろす山々に感動しながらの道程でした。山頂での缶ビールは格別でした。——こんな素晴らしい景色が私達の故郷にあるんだ。53才でもやれるんだ。——大きな



五月連休の久住登山

平成十一年十一月十四日、久住町の久住高原荘で恒例のクラス会を開催した。高橋幹事のあいさつに続き、物故者への黙とう、牧正会計より会計報告を終えて、杯を交わしながらお互いに健康を確かめ合い、今日の出席出来た喜びを語り合つて会場は盛り上がり時のたつのも忘れた。最後に校歌、「あかつき早く…」をスクラムを組みながらの合唱に歌声はくじゅう連山に響きわたった。

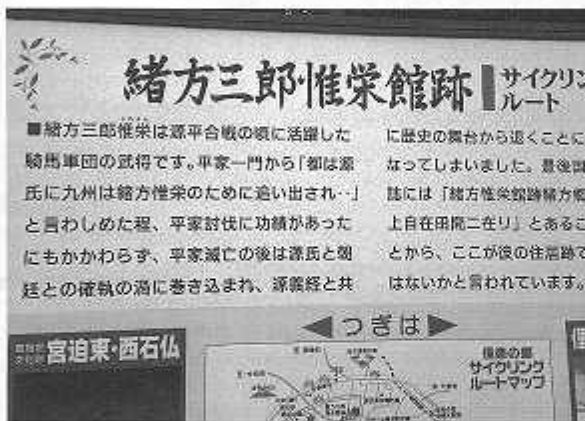


大分県立竹田中学校45期会・竹田高等女学校36回生(平成11年9月12日 於別府亀の井ホテル)

ふるさと名所紀行 ～緒方町に残る古代文化遺産～



緒方平野に伝わる館跡



佐藤 毅士 (昭28年卒)

源平時代のヒーロー緒方三郎惟栄

(大分県緒方町)

源平時代の雄、緒方三郎惟栄の名は、日本歴史の中に随所に記されている。緒方三郎惟栄の育った緒方郷は「和名類聚抄」や「豊後国風土記」によると、平安時代後期に、宇佐八幡宮領として成立した荘園である。惟栄はこの荘園の年貢徴収や田畑の管理、警察事務などの任務をつかさどる荘司で、戦国時代になると強大な権力を持つ武士団の頭領となったのである。当時の緒方三郎惟栄の勢力については、「平家物語」に「柿しき者の末」で「弓矢物取で、九州二島にならぶ者も有まじきぞ」とあり、さらに「源平盛衰記」には、「大統ノ末ナリケレバへ、身健ニ心モ剛ニシテ、九国ヲモ打隋工、西国ノ大將軍セント、思フ程ノオホケナキ者ナリケルニ」と書かれている程である。又竹田市阿城本丸跡の案内板は「岡城は文治元年(一一八五)緒方三郎惟栄が、源義経を迎えるため築城した。」と説明している。

県南の大野郡三重町から竹田市へ抜ける国道五〇二号線の中間あたりに緒方平野が開けている。広々とした穀倉地帯は「緒方五千石」と云われ、岡藩最大の米の生産地であったが、現在でも「ひのひかり」などの銘柄がその味を誇っている。

この緒方盆地のはは中央、南に祖母・傾山系を遠望し、前方を水流豊かな緒方川が西東に流れ、東側の崖下を軸丸川が横断している所に館跡がある。およそ千坪の跡地には、鳥居の奥に二十メートル程の石碑が建てられ、館復元想像図や説明板が設けられ、こんもりとした茂みが往時をしのばせている。

江戸末期の著名な蘭学者、緒方洪庵もその子孫で、その曾孫に当る緒方富雄氏(東大名誉教授)が発起人となり一族の著名人が建立した宝篋印塔もある。その他、この地区には惟栄が建てたと伝承されている一の宮、二の宮、三の宮八幡宮の緒方三社をはじめ、三の宮の台地から惟栄が投げたと伝えられている県指定文化財の「三反畑板碑」など古い史跡が多く点在し、古代の文化遺産を見学することが出来る。

浩宮皇太子殿下も学習院の大学時代に学友と共に訪れ、源平時代学習の一助とされたこともある。先にも述べたように現在も日本全国に点在し各界のリーダーとして活躍している緒方氏一族の繁栄は、古代の緒方三郎惟栄の強大な勢力が脈々として伝わる歴史的証明であろう。

声

第14回関東同窓会 に出席して

下田 妙子 (昭四五年卒)
(北九州在住)

竹高の同窓生が関東の地で毎年同窓会を盛大に開催しているとは驚きだった。同窓会に出席するとお互いの加齢現象を指摘しながらも、これも楽しからずやという心境だった。話題が竹高時代にかかのぼると、すぐに気持ちは顔もすべて高校時代にタイムスリップした。

会には昭和四年卒業以降の同窓生が二百名あまりも参加していた。この会には、意気高く、肩あげて生き抜いた方々が同窓会にしばしのオアシスを求めて集い、竹田弁丸だして心ゆくまでおしゃべりに興じることで、そんな暖かさや安心感を感じさせてくれた。三世代にわたって竹高魂が関東の地で脈々と息づいていることを知る良い機会でもあった。我々、四四年卒業生も東京での楽しいひとときを送ることができ、関東在住の幹事さん達に深謝したい。このオアシスで得られた心の潤いをさらに、高き理想に向かって旅路をすすめるよすがにしたい。

竹高通信23号

秋風が立ったとは言え残暑厳しき折、充分お体をご自愛下されご活躍なされますよう念じます。

※先般の高校生の殺傷事件を契機に、先日(8/25)教職員と全PTA役員による会合を、「竹高生の現状再認識」と題して開催、「兆候の早期察知」と「命の大切さを教える教育」の大切さを痛感。早速PTA広報部・広報「曉鐘」号外発行・Pの物心両面の応援に感謝。

※学生会・吉良達郎会長・平成12年度ノースロップ賞(緑化功労者)に輝く。全国で6名

※9/1「私の主張大会」優秀者2名決定(2年矢野仁志・2年後藤さやか)豊肥支部大会へ

※二期の主学校行事をお知らせ致します。

(全県模試・実考 9/7~8)

- ①9/16 学校周辺除草作業(保護者・生徒・教員・協力)
- ②9/18 P大学訪問 ③臥牛祭(9/20~23文化祭・体育祭)
- ④9/20 第2回学校評議委員会開催 ⑤10/11~13 中間考査
- ⑥10/13 生徒会役員認証式・性・薬物等教育教室 ⑦10/20 1・2年学年PTA進路講演会 ⑧10/21~ 3年進研模試 ⑨10/27 生徒総会 ⑩10/21 卒業40年同窓会 ⑪10/22 稲葉会(旧女学校)同窓会 ⑫10/28 学校見学会(中学生対象・九大コーリアカデミー演奏会) ⑬11/4~5 全県模擬試験・実考 ⑭11/7 演劇鑑賞 ⑮11/13 中高連絡会(英語・数学教員間) ⑯11/17 竹高大分同窓会 ⑰11/23 強歩大会 ⑱11/25~26 3年模試 ⑲11/29~12/2 期末考査 ⑳12/2 防火防災訓練・第2回地域奉仕活動 ㉑12/7 第3回中高連絡会(教師対象) ㉒12/12~16 修学旅行・北海道 ㉓二期最終卒業式(12/22)
- ※1~2年セミナー合宿・10月 ご支援をお願いします。

夕立に 化粧直して 地蔵笑む「竹田高校:校長・永松康士」

掲
示
板

竹田高校関東同窓会・ホームページへようこそ

この度、「この指とまれ」のSchool Mates' Web を使って、関東同窓会のホームページが開設されましたので、皆様にご案内致します。

コンタクトの方法は、

- ①メールアドレス <http://www.yubitoma.or.jp> で大分県/竹田高等学校を呼び出すか、又は
 - ②アドレスを忘れた場合は、「この指とまれ」を検索し、大分県/竹田高等学校を呼び出して下さい。
- 尚、ホームページに関するご意見等ありましたら、当面の間は、関東同窓会のホームページ登録へご尽力頂きました小松 凱さん(アドレス: komatsu.gai@nifty.ne.jp) までご連絡下さい。

「関東同窓会の皆さんへ!!」

この指とまれ!(大分県立竹田高等学校 関東同窓会のホームページ)



Welcome to our School_mates' Home Page!

大分県立竹田高等学校 関東同窓会 のホームページへようこそ!

都道府県名 学校区分 同窓会区分

・母校の情報

名 称	大分県立竹田高等学校
住 所	〒878 竹田市大字竹田2542
電 話	0974-63-3401
ホームページ	なし

・同窓会の名称と概要

名 称 大分県立竹田高等学校 関東同窓会
概 要 若き日に山紫水明の地、臥牛城跡のもとに集い、関東地区在住の同窓生の親睦の会です。

訃 報

慎んでお知らせ申し上げます。心から冥福をお祈り致します。

物故者御芳名

- 北村 まり様 (昭40年卒) 平成10年9月30日 没
黒川 正身様 (昭3年卒) 平成11年1月10日 没
添田 忠義様 (昭26年卒) 平成11年5月6日 没
河室 止様 (大14年卒) 平成11年6月16日 没
首藤 泰子様 (昭19年稲葉会) 平成11年8月12日 没



- 小坂 醇造様 (昭3年卒) 平成11年9月 没
西田 成様 (昭13年卒) 平成11年9月17日 没
柴山 勇造様 (昭42年卒) 平成11年11月26日 没
甲斐 武至様 (昭19年卒) 平成11年11月 没
高野 忠様 (昭4年卒) 平成12年3月16日 没
甲斐 功男様 (昭27年卒) 平成12年5月24日 没

会員の皆様へ
お知らせ!!

◎平成十二年度
竹田会総会・懇親会

日時・平成十二年十一月十七日(金)
午後六時より
場所・於 中野サンプラザ
14F 銀河の間

◎「中川久知」展

臥牛会員安東和彦氏が「発掘・調査」研究した郷土の殿様昆虫学者「中川久知」の顕彰展を開催致します。帰郷の際には是非お立ち寄り下さい。

期間 12月2日(土)~12月28日(木)
場所 竹田市立歴史資料館別館
市民ギャラリー水琴館
講演会 12月3日(日)14時
主催 竹田市教育委員会(水琴館)
(講演者 安東和彦氏)

詩歌・文芸

「二つ橋」

石原 田鶴子
(昭14年卒)

「二つ橋」渡れば風は嫺々と黒き流れに波皺を立つ
澁みつつ流れて堀水いろどれる花びらの少しは何處より来し

「東大 発祥の地」と黒き石碑に書かれたる学士会館の扉は重し
馬鈴薯の白き花咲き梅雨に入る土中の闇に珠凝りあむ

樟の枝の一日ざわざわ騒げるは白小鳩の巢を掛けんとするか

あ と が き

此の度「ホームページ」を開設、内容を充実中。皆様のご支援を期待しています。

※若い世代の皆様への「投稿」をお待ちしています。

「クラス会情報」や「特別寄稿」等々ご投稿を特に期待しております。

・投稿内容

- ①クラス会情報
- ②故郷の便り
- ③海外便り
- ④会員の語らい
- ⑤詩歌・文芸
- ⑥会員の催し
- ⑦会員消息
- ⑧その他

・連絡先

〒279-0022
千葉県浦安市今川2-10-31
神田 清 宛(広報委員長)
☎047-354-9456